さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　組　名前：

問1
山梨県は来年度、働き手のリスキリングの支援機関を設ける方針を固めました。その理由を答えてください。

.....

.....

.....

問2
支援機関では、なにをテーマとした講座を用意し、なにを目指しますか。

・講座のテーマ

.....

.....

・目指すもの

.....

.....

.....

県、学び直しに支援機関

DX人材育成へ講座

山梨県は来年度、働き手のリスキリング（学び直し）を推進して企業の収益と賃金増につなげようと、支援機関を設ける方針を固めた。デジタル技術習得に向けた連続講座を用意し、県内企業の社員らに提供。先進企業の技術者を講師に招くことを考えている。専用サイトを設けて講座情報を紹介し、受講者を募るほか、個別相談にも応じる。

県産業人材育成課によると、計画では「キャリアアップ・ユニバーシティ」と称した支援機関を設立。民間事業者に委託するなどして運営する仕組みを検討している。

講座の内容は先端技術による産業変革「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を主なテーマとし、数種類を用意する。個々の職場でDXを担い、生産性の向上につなげることができる即戦力人材の育成を目指す。賛同する企業や大学などと連携し、DXを実践している企業の社員、先端技術に詳しい教員らを講師役としたい考え。経営者向けの講座も設ける。

特設サイトで講座を一覧表示し、オンラインで受講申し込みを受け付ける。申込者や所属企業の特性を踏まえ、スタッフが最適な講座を勧める体制も整える。サイトでは、県立産業技術短期大学校や山梨大、ポリテクセンター山梨などの既存講座も併せて紹介。県内各機関の人材育成講座の情報を一元管理し、利便性を高める。

同課などによると、働き手のリスキリングについて、県内の中小企業からは「参加させるための経済的、時間的な余裕がない」との声が寄せられているという。県は参加を促すため、受講の関連経費に対する支援も視野に入れる。

県は昨春、労使団体の代表者らを委員とした会議を設け、リスキリングの普及に向けて協議を開始。3月中に基本構想をまとめ、4月以降に支援機関の体制や講座内容などの詳細を詰める。早くて年度内に本格運用したい考え。

県産業人材育成課の担当者は「多くの企業に関心を持ってもらえるような仕組みにしたい」と話した。〈宇賀神将樹〉

（2023年3月5日付 山梨日日新聞1面）

問3
県内の中小企業は、働き手のリスキリングについて、どのように考えていますか。

.....

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.